監　事　監　査　報　告　書

令和８年６月15日

学校法人豊中稲荷学園

理　事　会　御中

評議員会　御中

学校法人豊中稲荷学園

監　事　　浜　本　　宏　　㊞

私は、私立学校法及び学校法人豊中稲荷学園寄附行為の規定に基づき学校法人豊中稲荷学園の令和７年度（令和７年４月１日から令和８年３月31日）の業務並びに財産の状況について監査を行った。

私は監査にあたり、理事長及び関係者から業務に係る内容を聴取し、重要な決済書類等を閲覧するなど必要と思われる監査手続を実施した。

監査の結果、学校法人豊中稲荷学園の業務及び財産の状況は適切であり、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実はないものと認める。

以　上

令和７年度　自己評価結果公表シート

1.本園の教育目標

本園では、園児を「より良い未来社会を創造する主体」と捉えている。より良い未来社会を創造するには、相手を思いやる想像力や自分の気持ちを相手にうまく伝える表現力、新しく何かを生み出す創造力が必須であると考える。このことから、子どもたちがこれらの能力を獲得できる(であろう)保育・教育環境の構成に努める。

2.本年度、重点的に取り組む目標・計画

日常の保育に関しては、子どもが主体的に取り組める環境の整備に十分配慮する。自由保育的要素と一斉保育的要素を織り交ぜ、子どもの主体性を一義的に楽しい保育を実施する。自由保育における注意点は、「自由」と「平等」の両立である。そのため、自ら遊びを選択できない子どもに対しては、平等性を担保する観点からも言葉がけなど、注意をはらう。

行事に関しては、保護者、教職員が安全かつ安心した環境のなかで実施する。行事への主体的な関わりを通し、友達と協力する楽しさや、達成感を心に刻み、それらが精神的な発達や自信につなげられように心がける。

預かり保育に関しては、子どもが長時間にわたり幼稚園で過ごすこととなるため、子どもが心地よく安心して過ごすことができるよう配慮する。具体的には、多くの子どもが好む外遊びの時間を増やし、自由にのびのびと過ごせるようにする。

子育て支援に関しては、普段の子どもや保護者の様子に注意を払うとともに、保護者が気軽に相談できるように、日頃から保護者との良好なコミュニケーションを心がける。

未就園児クラスに関しては、1年後の入園に向けて、円滑に移行できるようにまずは幼稚園に馴れることを目標とし、基本的な生活習慣も少しずつ身につけられるように保護者と連携する。

地域との関わりでは、昨年度より園庭開放を開始した。園庭解放では、近い年齢の子どもを持つ保護者同士の交流の機会となり、また、保護者の息抜きの時間や場所となるように、雰囲気づくりに留意する。

3.評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
教育理念及び教育目標の理解の徹底	職員が本園の理念や目標を理解し、保育を実践している。今後においても全職員が理念や目標を理解し、それらを基盤とした保育を行う。
園児の成長・発達に寄与する行事への取り組み	運動会、作品展、生活発表会への取り組みを通し、集団への肯定的な帰属意識や仲間意識が子どもたちのなかに醸成しているように感じた。また、一つのことを最後まで諦めずやり遂げたことで、子どもの自信にもつながったと思われる。職員に対しても年中行事を通し、人格的成長を感じる。 課題としては、昨年度と同様、より職員間のコミュニケーションを

	図り、組織的かつ統一的な指導ができるように努めたい。
子育て支援の充実	日頃から職員は、保護者と良好な人間関係を築く努力をしている。 保護者からの意見や相談への対応には、全人的な視点を心がけるように指導している。 預かり保育に関して、引き続き利用制限を設けず実施した。新２号認定だけでなく、新１号認定の利用人数が増加した。 昨年度から預かり保育で給食の提供を開始した。保護者からも好評を得ている。給食利用者数も増加傾向である。

4.学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

・保護者の利便性や業務の効率化を目的に、預かり保育の予約や欠席連絡に専用アプリを利用するなど、今後はICT化を強化する。令和８年度より専用アプリを導入する。
・預かり保育の利用者が増加している。新１号・新２号の区分に関係なく、自由に好きな時に利用できることが、幼稚園を選択する最近の保護者の生活様式やニーズに合致し、利用者数の増加につながっていると推察する。
新１号認定の保護者が自由に預かり保育を利用できることは、育児のレスパイトという文脈においても大変重要と捉えている。

5.今後の取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
地域社会との関わり	地域住民が参加可能な行事を検討する。 小学校とより一層連携を図る。
保育の質の向上	公開保育の実施を検討する。 職員が現代的な保育観や価値観を身につけられるように研修を充実させる。

6.学校関係者の評価

特筆すべき指摘はなく、保育内容は妥当であると認められた。

7.財務状況

公認会計士による監査により、適正に運営されていると認められている。

事　業　報　告　書

令和７年度

【令和７年４月１日から令和８年３月31日まで】

学校法人　豊中稲荷学園

１、法人の概要

①名　称：学校法人　豊中稲荷学園【昭和 27 年 6 月 6 日法人設立】

②住所等：大阪府豊中市本町 7 丁目 3 番 7 号

電話番号　06-6858-0670

FAX　　06-6858-0670

ホームページ　https://miyayama.ed.jp

③設置する学校(令和 7 年 5 月 1 日現在)

宮山幼稚園

定員：285 名

実員：237 名

④理事長氏名：向野　授

※理事　6 名　評議員　13 名、監事　2 名　定例理事会 年 2 回開催

⑤教職員の状況(令和 7 年度末時点)

宮山幼稚園：教職員 23 名、新規採用者 0 名、退職者 2 名

２、事業概要(令和 7 年度宮山幼稚園の概要)

①教育方針

元気で明るい子ども・温かいおもいやりの心をもった子どもを育成する。

②学年、定員、学級数、実員(令和 7 年度 5 月 1 日現在)

宮山幼稚園

年度	学級数	満 3 歳児	学級数	3 歳児	学級数	4 歳児	学級数	5 歳児	計
定員			3	75 名	3	105 名	3	105 名	285 名
R6	0	0 名	3	66 名	3	85 名	3	91 名	242 名
R7	0	0 名	3	69 名	3	76 名	3	92 名	237 名

③保育時間

・年間を通じて午前 8 時 40 分～9 時 00 分までに登園

・月曜日～金曜日は、午前 9 時～午後 2 時まで　　土曜日は休園

・行事日・午前中保育以外　給食

④保育料及び諸経費

・授　業　料　　月額 5,300 円(保育料は月額 31,000 円ですが、幼児教育の無償化制度により月額 5,300 円。年間 63,600 円を 12 ヶ月で分納)

・給　食　費　　450 円(1 食分)

・バス協力費　　月額 4,000 円(通園バス利用者のみ　年額 48,000 円を 12 ヶ月で分納)

・保護者会々費　　月額 1,100 円

⑤入園料

70,000 円

⑥預かり保育(チューリップ教室)

通　常　　早朝預かり保育　7 時 30 分～8 時 40 分
　　保育後預かり保育　14 時～18 時
休園日　　早朝預かり保育　7 時 30 分～8 時 40 分
　　預かり保育　8 時 40 分～18 時

⑦行事の実施状況

4 月　入園式/始業式
5 月　検診/遠足
6 月　園外保育/プールあそび/検診
7 月　七夕まつり/個人懇談/終業式/自由登園
8 月　夏期保育/夏まつり/自由登園
9 月　始業式/避難訓練(火災)
10 月　運動会/おいもほり/遠足/秋祭りお楽しみ会/参観/宮入り
11 月　年長組お泊り保育/年中・年少園外保育/避難訓練(不審者)
12 月　クリスマス会/クリスマスコンサート/おもちつき/個人懇談/給食試食会/終業式
1 月　始業式/作品展/避難訓練(地震)/ひまわり教室懇談会
2 月　生活発表会
3 月　ひなまつり会/ランチパーティー(年長)/保護者によるおわかれ会/年長さんをおくる会/お別れ遠足/お楽しみ遠足/卒園式/終業式
※毎月　お誕生日会/園長先生によるハッピーバースデー

⑧主な事業の目的・計画

幼児の健全な発育発達を促す保育の実施、就学支援、園児や地域の子育て家庭への支援。

⑨計画等の進捗状況等

ICT 化を進めている。

令和 7 年度は保護者連絡アプリをより活用した。令和 8 年度も ICT 化を一層前進させ、職員の業務負担の軽減を図る。

令和7年度
学校法人　豊中稲荷学園

貸借対照表　（単位:円）

資　産　の　部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　減
固定資産	89,367,785	93,730,413	△ 4,362,628
流動資産	77,099,377	68,516,387	8,582,990
資産の部合計	166,467,162	162,246,800	4,220,362
負　債　の　部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　減
固定負債	0	0	0
流動負債	12,749,908	12,020,136	729,772
負債の部合計	12,749,908	12,020,136	729,772
純　資　産　の　部			
科　　目	本年度末	前年度末	増　減
基本金	276,716,184	275,358,784	1,357,400
繰越収支差額	△ 122,998,930	△ 125,132,120	2,133,190
純資産の部合計	153,717,254	150,226,664	3,490,590
負債及び純資産の部合計	166,467,162	162,246,800	4,220,362

財産目録　（単位:円）

1. 資産総額	166,467,162
Ⅰ固定資産	89,367,785
Ⅱ流動資産	77,099,377
2. 負債総額	12,749,908
Ⅰ固定負債	0
Ⅱ流動負債	12,749,908
3. 正味財産	153,717,254

令和7年度
学校法人 豊中稲荷学園

事業活動収支計算書　（単位:円）

		科目	予算	決算	差異
教育活動収支	事業活動収入の部	学生生徒等納付金	89,700,000	98,233,583	△ 8,533,583
		手数料	0	0	0
		寄付金	100,000	0	100,000
		経常費等補助金	46,898,000	46,898,000	0
		付随事業収入	38,200,000	41,066,721	△ 2,866,721
		雑収入	1,500,000	3,453,362	△ 1,953,362
		教育活動収入計	176,398,000	189,651,666	△ 13,253,666
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		人件費	112,000,000	117,928,092	△ 5,928,092
		教育研究経費	20,800,000	20,933,096	△ 133,096
		管理経費	41,630,000	47,393,774	△ 5,763,774
		徴収不能額等	0	0	0
		教育活動支出計	174,430,000	186,254,962	△ 11,824,962
	教育活動収支差額		1,968,000	3,396,704	△ 1,428,704
教育活動外収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		受取利息・配当金	20,000	93,886	△ 73,886
		その他の教育活動外収入	0	0	0
		教育活動外収入計	20,000	93,886	△ 73,886
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出計	0	0	0
	教育活動外収支差額		20,000	93,886	△ 73,886
経常収支差額			1,988,000	3,490,590	△ 1,502,590
特別収支	事業活動収入の部	科目	予算	決算	差異
		資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	0	0	0
		特別収入計	0	0	0
	事業活動支出の部	科目	予算	決算	差異
		資産処分差額	0	0	0
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出支出計	0	0	0
	特別収支差額		0	0	0
［予備費］			0		0
基本金組入前当年度収支差額			1,988,000	3,490,590	△ 1,502,590
基本金組入額合計			△ 600,000	△ 1,357,400	757,400
当年度収支差額			1,388,000	2,133,190	△ 745,190
前年度繰越収支差額			△ 125,132,120	△ 125,132,120	0
基本金取崩額			0	0	0
翌年度繰越収支差額			△ 123,744,120	△ 122,998,930	△ 745,190

（参考）

事業活動収入計	176,418,000	189,745,552	△ 13,327,552
事業活動支出計	174,430,000	186,254,962	△ 11,824,962

令和7年度
学校法人 豊中稲荷学園

資金収支計算書　　（単位:円）

収　入　の　部			
科　　目	予　算	決　算	差　異
学生生徒等納付金収入	89,700,000	98,233,583	△ 8,533,583
手数料収入	0	0	0
寄付金収入	100,000	0	100,000
補助金収入	46,898,000	46,898,000	0
資産売却収入	0	0	0
付随事業･収益事業収入	38,200,000	41,066,721	△ 2,866,721
受取利息･配当金収入	20,000	93,886	△ 73,886
雑収入	1,500,000	3,453,362	△ 1,953,362
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	6,500,000	4,445,000	2,055,000
その他の収入	9,600,000	14,081,813	△ 4,481,813
資金収入調整勘定	△ 6,680,000	△ 9,029,599	2,349,599
前年度繰越支払資金	65,722,898	65,722,898	
収入の部合計	251,560,898	264,965,664	△ 13,404,766

支　出　の　部			
科　　目	予　算	決　算	差　異
人件費支出	112,000,000	114,205,592	△ 2,205,592
教育研究経費支出	14,800,000	15,213,068	△ 413,068
管理経費支出	41,530,000	47,393,774	△ 5,863,774
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	0	1,357,400	△ 1,357,400
設備関係支出	600,000	0	600,000
資産運用支出	0	0	0
その他の支出	9,570,000	14,207,291	△ 4,637,291
［予備費］	0		0
資金支出調整勘定	0	△ 1,932,599	1,932,599
翌年度繰越支払資金	73,060,898	74,521,138	△ 1,460,240
支出の部合計	251,560,898	264,965,664	△ 13,404,766